



「おりひめ会」様よりご寄附をいただきました。

業務課 施設管理係 矢部勝弘



2月17日に行われた青い森信用金庫十和田営業部おりひめ会（会長 中野渡俊子様）の新年祝賀会にて、同会より金10万円のご寄附をいただきました。同会は、地域社会への貢献を目的に各公共団体への寄附を続けており、当院でもこれまでに多くのご寄附をいただいております。贈呈は、当院を代表して新年祝賀会に出席した高橋院長に同会の中野渡会長から目録が手渡され、寄附に対して院長はお礼の言葉を申し上げておりました。いただきましたご厚志は、当院の小児科及び院内保育所の子供たちのために大切に使用させていただきます。ご支援に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



病院マネジメント勉強会「公務員から見た病院経営」を開催しました

事務局長 中谷慎志

2月24日、青森県立中央病院上席医事専門官 松谷 厚聖氏をお迎えして勉強会を開催しました。松谷氏は病院勤務通算22年目、医事、診療報酬の仕組みを極めた立場から、お話しいただきました。



——— 公務員の基礎である法令、政策、予算を司る力と病院事務職の相性は決して悪くない。公務員の異動には不正防止とゼネラリスト育成の意味があるが、後者は知識的な意味に留まっている。行政組織のなかでゼネラリストに必要な教育、訓練の機会とキャリアパスがあるのは公立病院の看護部門だけではないか。とはいえ、イメージできないものはマネージできない。増して、一度危機を経験している病院の場合、医療従事者と異動してきた事務職員との間に温度差が生じていることが想像できる。人事異動により知識の蓄積が困難だと分かっているのに、知識のマニュアル化はあまりなされていない。個人の努力に依存するだけではなく、システム的に補完する必要がある。総務省の研究会報告書でも長期的かつ総合的な視点を持って限られた人材が必要であると、困難であるが故に20年前と同じことが言われている。はじめの一步としては、行政組織から病院に異動する事務職員には「行動変容」が必要になる。上司が部下に、なぜそれをやらなければならないか、求められているものはなにかをわかりやすく説明すること、具体的な言語化が必要。他者に何かを依頼する時に目的を明示しない、逆に他者から何かを依頼されたときに目的を確認しないのは、「言われたことだけやればよい」となってしまう。今日、行政組織そのものにも病院と同様のスキルが求められている。病院はスキル獲得に必要な研修を受けやすく、スキル発揮の機会が多い職場。ゼネラリストに必要なスキルを身につけることは決して無駄にならない。

約20名の多職種、また県内病院からも複数の参加者があり、質疑応答も行われました。



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>



「第10回病院ふれあいまつり」開催報告

地域医療連携部 田中裕之

3月11日(土)、「令和4年度 第10回病院ふれあいまつり」が行われ、**来場&Web (ZOOM)** 合わせて130名が参加されました。コロナ禍もあり、今年度までは規模を縮小した開催となりましたが、来年度からは通常通り開催される予定です。

オープニング
リマークス



高橋道長院長

ドクターが語る！
特別講演



臨床研修医
成田茂樹医師



附属とわだ診療所
水野隆史所長



丹野弘晃事業管理者

部門紹介・
職種紹介



リポーター…
臨床研修医
荻野雅也医師

ケアサポート
チーム紹介

病院見学ツアー



(zoom 開催)

(zoom 開催)



小学生からお年寄りまで多くの方が参加してくださいました。ご参加ありがとうございました！



先輩看護師の応援に感謝いたします。



当来院された方が季節を感じることで少しでも癒しになればと願いを込めて7段飾りのお雛様をご寄付くださった元看護師長の横山様より、今年新たに「お雛様収納桐箱」をご寄付いただきました。お雛様を飾る際と仕舞う際には横山様もお見えになり、すべて桐箱に納めることができました。これからもいただいたお雛様を大切に保存し、毎年飾って参ります。先輩看護師として、いつも応援をありがとうございます。



看護局長が当院へ寄附を行いました。



今年度末の定年をもって退任される看護局 築場看護局長より当院へ「車いす用テーブル」8台分が寄附されました。3月2日には管理者室で贈呈式が行われ、丹野管理者、高橋院長、中谷事務局長が出席しました。築場看護局長は38年の長きに渡り当院に勤務され、看護局長として7年間、看護師をまとめ上げ看護の質向上



マジックテープで簡単に取り付けられ、食事時等の姿勢保持に役立つ患者様だけでなく介助者の負担も軽減されます。(一院長先生にモデルになっていただきました)



に尽力されてこられました。いただいた「車いす用テーブル」も活用しながら、看護局長の意志を継ぎ、一同患者様のため日々努めて参ります。